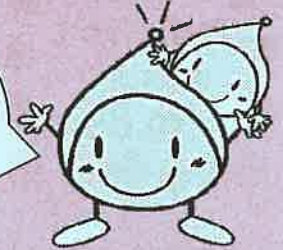


ささえ

奇数月発行

団体にとって
コミュニケーションカ
をつけることは
・団体の活動を伝える
・団体の活動を広げる
ために必要だよ。



エールくんとミニさぼちゃん

活動を伝えるための、活動を広げるための コミュニケーションカりよく

人にものごとをうまく伝えることは、簡単じゃないと思っている人は多いことでしょう。

「一生懸命話しているのに相手に理解してもらえない。」「誤解されてしまった！そんなつもりではなかった。」等、苦い経験をした人はいると思います。

また、団体の活動においても「自分が関わっている市民活動団体を対外的に説明するために、支援者を増やすためにはどうしたらいいのだろう？」と悩んでいる団体も多いことと思います。良い活動をしていても、多くの参加者や支援者を得られなければ、活動は広がりません。

人と人、組織と組織、“自分の想い”や“組織の想い”を人に伝えるには、自らの団体のミッションやビジョンを会員がきちんと把握し、発信する力が必要です。

「誰に何を伝えたいのか」、「ターゲット」と「伝えたい事」を整理することが大事です。



1



まず、自分を知らう！

「自分は何者か、何を伝えたいのか整理しよう。」

まず、団体を知ろう！

「団体の活動目的は何か、課題をどのように解決したいのか、会員の中で情報共有をはかろう！」



2



「誰に何を伝えたいのか」を整理しよう！

なんとなく色々な人に、「あれもやりたい！」「これもやりたい！」と、あいまいな言葉で伝えていませんか？

「課題」「目的」「ターゲット」「コンセプト（何を）」を明確に。



3



相手のこともしっかり聴く

「ものごとをうまく伝えるためには、まず、相手がどんな考え方の持ち主なのか、どんな団体でどんなビジョンを持っているか、しっかり聴く。「相手からどう見られているかを想像」し、「自分達は相手からどう見られたいか」を考え、うまくコミュニケーションを図っていく。

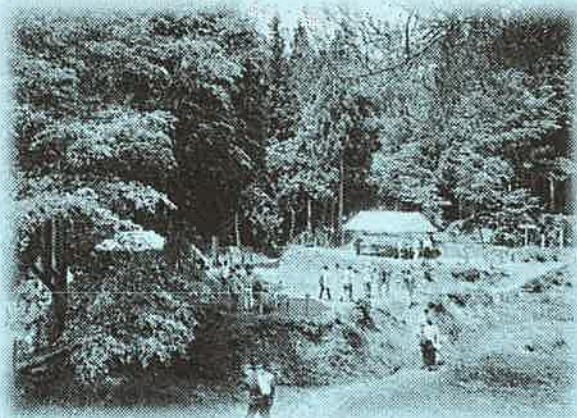




取材に行っ
てきました!
No.89

ひよじ 檜余地導仙公園自然を守る会

周東町の山道をどんどん山奥に進んだ場所にある檜余地地区。そこにある耕作放棄地をピオトープに造り替えた「檜余地導仙自然公園」(通称「導仙プラネット」)のオープニングイベント「第1回しゅうとう檜余地導仙自然公園まつり」にお邪魔しました。



数十年にわたり耕作放棄地だった土地を2015年から有志が整備を始め「檜余地導仙公園自然を守る会」を発足。今年度、市民活動団体に登録されました。

朝10時、開園を祝う式典からまつりがスタート。来賓祝辞や記念植樹、太鼓やトランペットの演奏もあり、素晴らしい音色が山の中に響いていました。式典後には、生物の多様性について、森林インストラクターによる記念講演も行われました。

受付横では地域の方の手作り品の販売もあり、グリーンピースの入ったおむすび弁当は早々と完売。加工品や雑貨も人気でした。午後からは同じ地域で活動されている市民活動団体「里山ひよじ村」のメンバーさん達も駆け付け、お米やきな粉などの販売も行われました。

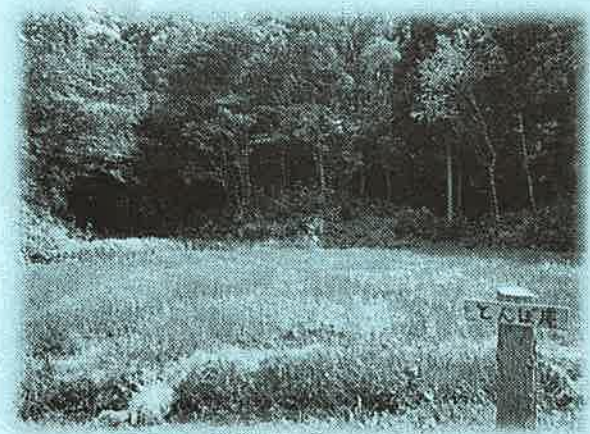
お昼休憩を挟んで、午後からは専門家の指導のもと、園内を探索しながらの昆虫観察会。

公園内は広く、手作りプランコがあるイベント広場、休憩用の小屋があるくつろぎゾーン、落葉低木クロモジを植樹したエリア、湿地帯などがあり、あちこちで様々な昆虫を見ることができました。湿地帯では他の地域から渡ってきた、日本一小さいと言われているハッチョウトンボも飛び始めたそうで、今後は水性植物などを植える取り組みも計画中だとか。探索途中で希少な昆虫等も発見され、大いに盛り上がりました。



記念植樹の様子

「自然を壊さずに公園を造るのは難しかった。子ども達が自然環境を学べる場になれば。」と会長の河村さん。会の設立目的である、自然との共存共栄、そして希少な昆虫や植物の保護活動にこれから積極的に取り組んでいかれるそうです。



公園内の湿地帯「とんぼ庵」

お問い合わせ

檜余地導仙公園自然を守る会

TEL: 0827-86-0012



市民活動団体のイベント情報



夏休み子どもクッキング

～パフェ&餃子の皮で何作ろう?～

- 日 時：平成30年7月24日(火)
10:00～13:00
- 場 所：岩国市中央公民館 調理室
- 対 象：小学生、幼児（幼児は保護者同伴）
- 参加費：1人500円（材料費、保険代込）
- 定 員：20名（締切：7/20(金)15時）
- 持参物：エプロン、三角巾、お茶
- 問合せ/申込：NPO法人 岩国子ども劇場
☎/FAX 0827-41-1715



想&奏 ～音カフェ&絵本カフェ～

『暮らしにぬくもりを』

夏のうた♪～ミニコンサート

～プログラム～

- ♪ミニコンサート（ピアノ、歌、楽器他）
- ♪絵本タイム
- ♪ヨーロッパのおもちゃにふれる時間
- ♪ランチタイム（季節の食材での手作りメニュー）



第4回 岩国城下町「こぬかの盆」

今年も魅せます、踊ります！

小糠、来ぬか、「こぬかの盆」

- 日 時：平成30年8月15日(水)
19:00～21:00
※雨天は翌日に順延
- 場 所：岩国1丁目 魚町、材木町(旧町名)道筋
- 問合せ：小糠踊保存会
☎ 0827-43-1626（山代屋）
☎ 0827-43-2384（徳増）



- 日 時：平成30年8月4日(土)
11:00～13:00
- 場 所：スペース想&奏（岩国市三笠町2-9）
- 対 象：未就園児親子（大人のみの参加も可）
- 参加費：親子ペア1,000円（家族が増える毎に+500円）
※ランチ、保険代込
- 定 員：10組
- 問合せ/申込：NPO法人 岩国子ども劇場
☎ 0827-41-1715
☎ 080-1921-8787



支援センターからのお知らせ



イベント・講座・NPO情報等、皆さまの活動の情報をお寄せ下さい！

「ボランティア活動の“いろは”」

～はじめてのボランティア入門講座～

これからボランティア活動をはじめたい方や市民活動団体を立ち上げたい方対象に、ボランティア活動の基本を、「どうしたら人が集まるの?」等悩みを持つ活動中の団体さんには、イベントの企画から後継者づくりのノウハウまで、活動のコツをわかりやすく学びます。どなたでもご参加大歓迎です！

- 日 時：平成30年8月31日(水) 13:30～15:30
- 参加費：無料
- 定 員：30名
- 場 所：岩国市中央公民館 第5講座室
- 講 師：山本 恵由美 氏（広島修道大学「ボランティア論」講師）

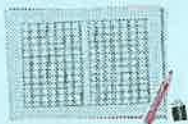


「人を動かす チラシ・情報誌作り」

～雑誌『くるとん』の編集現場から～

岩国・大島・柳井をピックアップした人気雑誌「くるとん」。地元に着目した地域誌の編集長に、イベント参加者や会員を増やすために何をどうすべきか、更には“想い”が伝わる紙面づくりの極意や心理学を基に、わかりやすく解説していただきます。

- 日 時：平成30年9月8日(土) 13:30～15:30
- 参加費：無料
- 定 員：40名
- 場 所：岩国市中央公民館 集会場
- 講 師：藤井 康弘 氏（地域誌「くるとん」編集長）



ボランティアチャレンジ2018「花博につなげよう！県民活動の輪」

9月14日(金)～11月4日(日)「山口きらら博記念公園」にて開催の『山口ゆめ花博』の県民活動参加促進へ向けて、県民、団体、自治会、企業等が様々なボランティア活動に取り組む「ボランティアチャレンジ」を8月まで実施しています。花博期間中に「ボラチャレ写真展」が開設され、活動写真がゆめ花博会場で展示されます。ぜひ参加してみませんか。 ※問合せ：山口県県民生活課 ☎083-933-2614



助成金ニュース

①内容・対象 ②助成金額・件数 ③締切 ④問合せ先
*詳しくは、センター又は各問合せ先までお願いします。

第12回かめのり賞募集

- ① 日本とアジア・オセアニアの若い世代を中心とした相互理解・相互交流の促進や人材育成に草の根で貢献し、今後の活動が期待される個人または団体を顕彰します。
- ② かめのり大賞・かめのりさきがけ賞：記念の楯および副賞として100万円の活動奨励金の贈呈
- ③ 平成30年9月21日（金）（必着）
- ④ 公益財団法人かめのり財団「かめのり賞」係 TEL:03-3234-1694 FAX:03-3234-1603

平成30年度岩国市みんなの夢をはぐくむ交付金（追加募集）

- ① 団体提案事業（テーマは自由です。）
市提案型協働事業（若者世代の市民活動応援事業、散策マップ作成事業、中心市街地活性化にぎわい創出事業、地域資源の発掘・活用イベント事業、地域課題解決型協働事業）
- ② 上限30万円以内（助成率2/3以内）
- ③ 平成30年7月23日（月）～9月14日（金）
- ④ 岩国市市民協働推進課 TEL:0827-29-5015

瀬戸内オリーブ基金助成 2018年度募集

- ① 瀬戸内海の自然環境に相応しい植生への回復、里山・里海の育成、地域の緑化活動、巨木の保全、環境教育活動、地域の環境保全等をテーマにした市民活動
- ② 上限200万円（助成率1/2以内）
- ③ 平成30年8月31日（金）
- ④ NPO法人瀬戸内オリーブ基金事務局 TEL:0879-68-2911



岩国のへえ～ 85の巻

—空海が刻んだ 岩屋観音—

美川町大字根笠字岩屋に安置されている岩屋観音は、延暦23年（804）、諸国を行脚していた弘法大師（空海）がこの地に立ち寄った際、この岩屋に杖を止め 楠 の古木に「一刀三礼の法」で観音像をみずから刻み込んだといひます。

その後、千年余りの長い年月を経て鐘乳の点滴が木像を包み込み、木仏が石仏と変容したといひます。現在木像部分は腐敗してほとんどなくなり、内部は空洞化してしまっています。

このことが学術上きわめて珍しいということで、昭和9年（1934）天然記念物の指定を受けました。

参考資料：岩国・柳井の歴史 監修／宮田伊津美



編集後記

子ども達はもうすぐ夏休みですね！まめに水分補給をし、熱中症に備えましょう！

先日支援センターに来られた団体の方に「ありがとうね」「お世話になりました」と何度も笑顔で言っていたら、それだけで心がほっこりして、とても幸せな気持ちになりました。

これからも『義務感』を持たず皆さんと楽しくコミュニケーションを取りながら、しっかりサポートしていきたいと思ひます！（マキ）

支援センター利用状況(5、6月)

・印刷・コピー・大判プリンター	268件
・相談	51件
・登録団体数	83団体(のべ数)

発行：いわくに市民活動支援センター

〒741-0062 岩国市岩国 4-4-15
(岩国市中央公民館3階)

TEL: 0827-44-0288 FAX: 0827-44-0324

E-mail: shien@sky.icn-tv.ne.jp

HP: <http://www.iwakuni-shien-center.com/>

Facebook: <https://www.facebook.com/iwakunishien>